

知識を“広める”



「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という、赤十字の使命に基づき、さまざまな講習を展開しています。
ご関心がありましたら是非お問い合わせください。

■ 救急法講習

一次救命処置・急病・骨折やけがの応急手当などについて学べます。



救急法講習

■ 水上安全法講習

泳ぎの基本と事故防止、おぼれた人の救助方法などについて学べます。



水上安全法講習

■ 幼児安全法講習

子どもに起こりやすい事故の予防とその手当などについて学べます。



幼児安全法講習

■ 健康生活支援講習

高齢者との接し方や介護の仕方について学べます。



健康生活支援講習

■ 防災講習

・防災セミナー

地域コミュニティでの「自助」「共助」の力を高め、災害からいのちを守り、身の安全を確保するため、普段から準備すべきことを学べます。

・防災啓発プログラム

被災した際に、避難所での生活支援の方法・こころのケアや防災・減災のための対応など、知りたいプログラムを選択して学べます。



防災講習

講習会実施までの流れ

- 1 講習会を計画する
- 2 電話による相談（講習希望日の2か月前までに）、救急法等申込書の提出
- 3 講師派遣の回答（提出後10日以内に連絡します）
- 4 講習派遣依頼文書を市町村担当窓口へ提出
- 5 講習資材などを電話で打合せ
- 6 講習会実施

※講習会の詳細はこちら▶



★ 令和6年度の主な取り組み ★

- 地区区分と奈良県支部の共催による講習を開催費用無料で開催します。
- 金色有功章を受章された企業様を対象に開催費用無料で講習を開催します。
- 各講習の指導が行える指導員の養成講習を開催します。

～赤十字活動は皆様からの「会費」「寄付金」、そしてボランティアの方々の活動に支えられています～

赤十字活動資金にご協力をお願いします

活動資金へのご協力方法

- ① 自治会・町内会や赤十字奉仕団を通じてのご協力
- ② 奈良県支部やお住まいの市町村の赤十字窓口でのご協力
- ③ 銀行・郵便局・JAならけんからのお振込みによるご協力

金融機関	口座番号	加入者名
郵便局	00950-9-105293	
南都銀行南支店	普通預金No0442508	日本赤十字社奈良県支部
JAならけん	普通預金No0009950	

※ 振込用紙の通信欄には、「活動資金」とご記入ください。
※ 南都銀行・JAならけんからお振込の場合は、奈良県支部へご連絡ください。振込用紙を送付いたします。

④ 口座振替・クレジット決済によるご協力

※ 口座振替には専用の申込用紙がありますので奈良県支部までご連絡ください。

※ クレジットカード決済は、日本赤十字社のホームページからお申し込みをお願いします。https://www.jrc.or.jp/

⑤ 企業・団体の「CSR活動」によるご協力

※ 寄付金付き自販機の設置・売上金の一部を赤十字へご寄付・チャリティイベントによる収益金ご寄付・災害時の協定 など

⑥ 遺贈によるご寄付や相続財産のご寄付

※ 詳しいパンフレットをご希望の方は、奈良県支部までご連絡ください。

❖ 日本赤十字社へのご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、奈良県支部へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

表彰制度について

● 日本赤十字社の表彰

項目	表彰基準
支部長表彰状 支部長感謝状	活動資金として、一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人
銀色有功章	活動資金として、一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人
金色有功章	活動資金として、一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人
日本赤十字社感謝状	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円以上を納められた個人・法人

● 国の表彰

項目	表彰基準
厚生労働大臣感謝状	活動資金として、一時または同年度内に累計で100万円以上を納められた個人・300万円以上を納められた法人
紺綬褒章	活動資金として、一時または分納の累計で、500万円以上を納められた個人・1,000万円以上を納められた法人

あたたかいご支援
よろしくお願いいたします。



令和4年度決算

収入の部	決算額(円)
社資収入(地区区分(市町村)及び支部を通じて個人、法人からの会費、寄付金等)	151,690,470
補助金及び交付金収入(日本赤十字社本社からの交付金)	4,122,219
資産収入(支部災害救援車売却)	790,090
繰入金収入(災害救護資金、国際救護活動資金繰入)	17,438,234
雑収入(講師派遣収入、講習用教材費収入等)	3,025,620
前年度繰越金	57,577,145
収入合計	234,643,778

支出の部	決算額(円)
災害救護事業費(災害に備えた救護装備、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護養成費等)	54,557,694
社会活動費(救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費)	26,558,631
国際活動費(ハンガリー保健医療支援事業、海外救援金住民税控除対象分)	7,987,718
指定事業地方振興費(災害救護資機材整備費)	11,938,234
地区区分交付金支出(地区区分(市町村)における赤十字活動費)	9,892,382
社業振興費(赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金募集、会員管理費)	29,878,597
基盤整備交付金・補助金支出(血液センター施設整備費)	280,000
積立金支出(災害等資金積立金、退職給与資金特別会計積立金)	15,272,662
総務管理費(支部の事業管理運営費)	24,034,921
資産取得及び資産管理費(施設管理費)	1,122,457
本社送納金支出(日本赤十字社本社への送納金)	20,512,835
支出合計	202,036,131
次期繰越金	32,607,647

令和6年度予算

収入の部	予算額(円)
社資収入	167,000,000
補助金及び交付金収入	6,979,000
資産収入	100,000
繰入金収入	20,000,000
雑収入	4,921,000
前年度繰越金	25,000,000
収入合計	224,000,000

支出の部	予算額(円)
災害救護事業費	55,200,000
社会活動費	39,500,000
国際活動費	1,100,000
指定事業地方振興費	3,000,000
地区区分交付金支出	16,800,000
社業振興費	38,000,000
積立金支出	15,000,000
総務管理費	27,000,000
資産取得及び資産管理費	1,550,000
本社送納金支出	23,850,000
予備費	3,000,000
支出合計	224,000,000

令和6年度

日赤なら

知ってほしい。
いのちを守る赤十字活動



苦しんでいる人を救いたい



令和6年能登半島地震救護活動
～奈良県支部から計6班の救護班が石川県輪島市へ～

平素より赤十字活動に格別のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
日本赤十字社では災害発生時には救護活動や被災者支援を当然の責務として行っておりますが、
本誌では日頃から奈良県支部が取り組んでいる身近な活動をご紹介します。



日本赤十字社 奈良県支部
Japanese Red Cross Society



〒630-8133
奈良市大安寺1丁目23番2号
TEL : 0742-61-5666
FAX : 0742-61-5756
https://www.jrc.or.jp/chapter/nara/



災害に“備える”

地震・大雨などの自然災害に一刻も早く対応できるよう、奈良県内医療機関と委託契約を締結し、救護班を編成しています。また、いざというときに備え、必要となる救護資器材の整備も行っています。



第4ブロック（近畿）合同災害救護訓練



奈良県防災総合訓練に
防災ボランティアも参加



災害救援車（トラック）



防災倉庫（イメージ）

人の備え

①第4ブロック（近畿）合同災害救護訓練

日赤救護班やボランティアなどが参加し、連携強化や知識向上を図ります。
令和6年度は和歌山県で実施予定です。

②奈良県防災総合訓練

奈良県主催の防災訓練に、日赤救護班が参加し、関係機関の連携強化と技術の向上を目指します。

■ 救護班を編成していただいている医療機関

奈良県 総合医療センター	奈良県 西和医療センター	市立奈良病院
大和高田市立病院	南奈良 総合医療センター	奈良県立医科大学 附属病院

物の備え

大規模災害に備え、災害救護活動に必要な資器材の整備を行っています。

★令和6年度の主な整備計画★

- 災害救援車（トラック）
- 心肺蘇生人形
- 防災倉庫（地区分区分配備）
- AEDトレーナー
- 車いす
- ボランティア用ヘルメット

世界と“つながる”



世界191の国と地域で組織されている赤十字は、国際赤十字と連携を図り、紛争、災害、貧困などで苦しむ人々を支援しています。

奈良県支部では、令和2年度よりバングラデシュ保健医療支援として資金援助を行っています。また、海外での大規模災害・紛争等に対して救援金の募集を行ったり、毎年12月には「NHK海外たすけあい」キャンペーンとして、県内各地で街頭募金を行うなど、世界への支援を行っています。



募金活動

赤十字活動を“育てる”

赤十字ボランティア

★各ボランティアメンバー募集中★

災害救護や献血の推進、講習会の普及や赤十字事業の推進をはじめ、地域社会のニーズに応じた幅広い活動に積極的に参加・協力しています。

※ボランティアの
募集はこちら▶



地域赤十字奉仕団

市町村ごとに組織され、県内で2,605名の方が地域奉仕団として身近なニーズや課題に取り組んでいます。奈良県支部では、奉仕団としての知識や技術向上のための研修を行うほか、ふれあいサロンや高齢者等の見守り、奉仕団の広報活動や団員募集など、活動の一助となる助成金を交付し、地域赤十字奉仕団の活動を支援しています。



こども食堂



奉仕団研修会



募金活動



地域防災普及



炊き出し訓練

安全法指導赤十字奉仕団

赤十字救急法等の講習を指導できる組織で講習受講者への指導や技術向上の研修を行っています。



救急法体験



水上安全法講習

青年赤十字奉仕団

勤労青年や大学生で組織され、献血の呼びかけや青少年赤十字のサポートなどを行っています。



清掃活動



親子イベントでの製作補助

青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字の指導者であった先生で組織され、青少年赤十字のサポートをしています。



リーダーシップ・トレーニングセンター



赤十字フェスタ

無線・救護赤十字奉仕団

無線技士の資格を活かし、災害時の情報収集や伝達を担うため、通信訓練や救護活動を行っています。



伝搬調査



通信訓練

看護赤十字奉仕団

看護師資格を持つメンバーで組織され、県内で開催される行事やイベントなどで臨時救護活動を行っています。



奈良マラソン救護



付添救護

防災ボランティア

奈良県支部が行う救護活動や被災者支援のための活動を行っています。



救護訓練



救護活動支援

青少年赤十字

青少年赤十字は、幼稚園、保育所、小・中・高等学校等で先生方が指導者となり、「気づき・考え・実行する」という生きる力を養い、豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組んでいます。奈良県内では、現在132校・合計約35,000人が青少年赤十字に加盟しております。

主な活動

■ 親子で学ぶ防災教室

夏休みに、ラップやビニール袋等を使用した身近なものを使った応急手当、毛布ガウンなど非常時に使える知識を親子で学ぶことができる教室を開催します。

■ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター

夏休みに、集団生活を通じてリーダーとして必要なスキルや生活態度を学びます。（令和5年度：奈良市野外活動センター）

加盟校
募集中!



親子で学ぶ防災教室



リーダーシップ・トレーニングセンター



中学校での防災講習



京都第二赤十字看護専門学校の
授業の様子

看護師の養成

看護に関する幅広い能力と災害救護の専門知識を兼ね備えた看護師を養成するため、京都第二赤十字看護専門学校に委託しています。赤十字看護学生には奨学金制度を設けています。



献血で“つなぐ”



血液センターでは、県内各地で献血をお願いし、24 時間体制で安全な血液を安定的に医療機関へお届けしています。

また、将来の献血を支える若年層への啓発として、献血セミナーや学校献血に取り組んでいます。

【採血基準】

系 統	成分献血		全血献血	
	血小板	血漿	400mL	200mL
種 類	血小板	血漿	400mL	200mL
1 回 の 献 血 量	600mL以下 (循環血液量の12%以内)		400mL	200mL
年 齢 ※	男性18歳～ 69歳	18歳～69歳	男性 17 歳～ 69 歳	16歳～69歳
	女性18歳～ 54歳		女性18歳～ 69歳	
体 重	男性45kg以上 女性40kg以上		男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上

※65歳以上の方の献血は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。



近鉄奈良駅ビル献血ルーム

献血場所

奈良県赤十字血液センター
大和郡山市筒井町600-1
TEL.0743-56-6100
献血予約専用フリーダイヤル
☎ 0120-566-245
近鉄奈良駅ビル献血ルーム
奈良市東向中町28 (奈良近鉄ビル6階)
TEL.0742-22-2122
献血予約専用フリーダイヤル
☎ 0120-397-722

